

## 地域ぐるみの取り組みによって 病院や診療所、老健施設などを再編。



スタッフステーションには、両側の出入口にスタッフ用洗手器を設置した。以前は洗手器が少なくて不便だったため、看護師の意見で増設。必要な時に、スムーズに流水手洗いができるようになった。

1956年の開設以来、地域医療を守り続けてきた大台厚生病院。

その後1964年に建設された病院施設の老朽化が進んでいたこともあり、地域の期待を受けながら、地元である大台町と大紀町からの支援を受け、新築移転して2015年4月に新しくスタートしました。

同じ大台町には、老健施設を中心とした宮川メディカルセンターも新たに開設。住み慣れた土地で、安心して暮らし続けられる取り組みが進められています。



4階建ての新病院は、総床面積も大幅に拡大。

### 徹底的に壁掛けタイプにこだわるなど 設備・清掃面からの感染対策を推進。

地域の高齢化が進む中で、医療ニーズに対応できるように、これまでの町立・報徳病院の診療機能は報徳診療所(宮川メディカルセンター内)で継続し、入院機能は大台厚生病院へと再編。機能を統合・強化した大台厚生病院では、入院病床および透析病床の拡充、医療機器の整備、電子カルテシステムの導入などが行われました。

トイレは、事前にモックアップで確認して、スタッフ全員で手すりやスイッチの位置などの細かい寸法まで検討。感染対策のスタッフからの進言で、大便器や小便器、手洗いカウンター、汚物流しには壁掛けタイプを採用し、さらにパブリックトイレには積極的に非接触のセンサー式を導入しました。また、加圧ポンプや排水ポンプが非常用発電機の回路に組み込まれているので停電時にも使用できるトイレを用意するなど、災害対策にも配慮されています。



見やすきはっきりとしたサイン計画を展開。

#### 大台厚生病院

- 竣工年月／2015年3月
- 所在地／三重県多気郡大台町上三瀬663-2
- 施主／三重県厚生農業協同組合連合会
- 設計／株式会社大建設
- 延床面積／約9,900m<sup>2</sup>
- 病床数／110床



トイレに行けない重症患者さんが多い4床室の入口には、壁掛けタイプの汚物流しを設置。汚物を運ぶ動線を短くする配慮があり、センサー式であるため、非接触で汚物を流すことができる。



1Fに設けられたオストメイト対応の多機能トイレ。清掃のしやすさも考慮し、大便器には壁掛けタイプを採用している。ペーパーチェアやおむつ交換台なども用意されている。



4床室の洗面カウンターは、カウンター横に入って介助ができるように、片側に十分なスペースを確保。また、カウンターの側面もしっかりと清掃できるよう、あえて壁との間に隙間を設けて設置している。



## Voice 病院スタッフの方々からの声

### ポータブルトイレが減って、歩行器の利用が増え、ADLの改善を実感します。



三重県厚生農業協同組合連合会  
事業部 施設担当 マネージャー  
藤田勇人さん(左)

大台厚生病院  
事務部長 田畑耕治さん(中左)  
看護部長 小野節子さん(中右)  
看護師長 中西博子さん(右)

大台町、大紀町、三重県、三重大学、JA三重厚生連の5者協議会を発足させ、病院を新築する運びになりました。地域が丸となって、医療機能を統合して高めて行こうという思いは強く、そうした想いは新病院のサインにも表現され、大台町の花であるホンシャクナゲと、大紀町の花であるツツジが、各所にあしらわれています。旧病院は老朽化していましたし、スタッフ用のトイレは和式だけの状態でしたから、大々的に変わりましたね。以前はトイレや手洗いの場所が少なかったという感染対策上の問題も解決できましたし、清潔と不潔のエリア分けもできるなど、多くの希望がかないました。トイレの位置も、以前は患者さんが移動するのに遠かったのがポータブルトイレの使用が多かったのですが、今はトイレで排泄してもらえるようになりました。車いすの患者さんも自走して行けますし、ポータブルトイレがだいぶ減り、逆に歩行器が増えましたね。ADLがずいぶん改善されていると実感します。新築という一世一代のようなタイミングでしたから、この時点でできる限りのことをしようと、みんなでベストを尽くして本当に良かったと思っています。

## 宮川メディカルセンター

### 医療と介護の機能を集積させた、温もりのある施設。

同じ大台町に、町が主導する形で、宮川メディカルセンターも新築されました。既存の福祉センターに隣接して、老健施設と診療所の2棟を建設。両施設とも内装材などには大台町産の杉の間伐材をふんだんに使用し、地域に根ざした温かみのある施設となっています。木の香りにはリラックス効果もあり、利用者はもちろん、スタッフにも「心にゆとりを持って介護ができる」と、たいへん好評。さらにトイレにも町産材が使われ、消臭・調湿効果が感じられると喜ばれています。

老健施設には個室60室と4床室10室があり、1Fにはデイケアも。自宅との橋渡しになるためにも、利用者が自宅にいるような感覚で自分のペースで暮らせるように配慮され、リハビリにも独自開発のプログラムによる工夫がなされています。



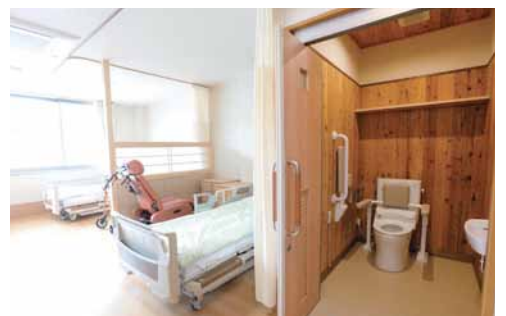
「介護老人保健施設みやがわ」には、デイケアセンターも併設。この左側には「報徳診療所」が開設されている。

#### 宮川メディカルセンター(介護老人保健施設みやがわ・報徳診療所)

- 竣工年月/2015年3月
- 所在地/三重県多気郡大台町江馬114
- 施主/三重県多気郡大台町
- 設計/株式会社東畑建築事務所、株式会社スペースデザイン
- 延床面積/5,750m<sup>2</sup>
- 運営/社会福祉法人 明合乃里会
- 定員/100名



個室には、車いすでアプローチしやすい洗面カウンターを設置。入口扉は木でデザインされ、和やかな雰囲気を醸し出している。



4床室の入口に設けられた、木の風合いが温かいトイレ。背もたれ付き手すりや前方アームレストなどが設けられている。